

# 閉会中の常任委員会調査



## ●平成25年度町税の徴収状況について

一般会計合計現年度分徴収率は滞納繰越で1・2%減、合計では2・1%増となる。

## ●統合文教施設設備状況について

工事については順調に進んでおり、校舎棟については3月引き渡し、4月開校に向けて進んでいる。

## ●教育体制の進捗状況について

10月19日三国小学校から始まった閉校記念式典も中学校舎お別れ会も含めて終了しており、後は湯沢小学校を残すのみです。

11月21日に全小学校参加の試験登校が予定されています。12月7日(土)、第1回教育フェスティバルがカルチャー

センターで行われます。

湯沢地区からのスクールバス運行計画が変更になり、駅東口と湯沢小学校前の発着となりました。

## ●湯沢高原の決算報告

現状は20万2000人の入込客数で、計画より1万7000人強多くなった。

売上も5億5000万円余で3200万円強増となった。

●平成24年度中に湯沢高原に抛出した金額が決算数値に反映されていないので、実際は赤字なのでは。

●考え方はそうなる。

●湯沢高原は災害に弱いのでは。

●答 昨年が続いて今年も災害が起きていて、今年も1400万円くらいかかる。

●問 決算後の今夏の実績はどうだったのか。

●答 グランドオープン後、天候に恵まれず客足が伸びていない。

## ●空き家等の適正管理に関する条例

条例を制定するため、パブリックコメントを実施。12月議会に提出し、可決後この冬から対応したい。

●問 パブリックコメント期間前に、なぜ議会に説明がなかったのか。

●答 作る手法として、まず先にパブリックコメントを受けてから議会に説明する予定だった。

●問 庁舎内の議論はどのような行ってきたのか。

●答 これらの条例は以前からの課題であった。現在県内14市町で制定されており、参考にさせてもらった。

特徴は「自治組織との協同」「議会の同意」であります。



## ●公共下水道湯沢浄化センター視察

汚水は浄化センターへ受け入れられ、処理後に冬期間湯沢温泉街の道路消雪用水として再利用されます。

## ●三俣地区振興対策の進捗状況視察

みつまた道の駅施設内容の説明を受ける。売店、軽食、テイクアウト等。

## ●冬季宣伝計画、春季ディスプレイ、春先イベントについて

スキー場スタンプラリー、新潟DCに向けたプロモーション等の説明を受ける。

## ●国土調査の進捗状況について

本年度の事業実施計画の説明を受ける。

●問 堀切まで行くのにどれほどかかるのか。

●答 5年ほどかかると思う。目処は0・5平方キロで約1年。



## ●介護保険事業の現状と課題

●問 湯沢の高齢者が利用しているそれぞれの施設は。

●答 介護老人福祉施設(特養)は、ゆのさと園、みなみ園、まいこ園、こころの杜八色園、雪椿の里。

介護老人保健施設は、越南園、清流園、草筒の里、ほかの里。

療養型医療施設は、湯沢病院、斉藤記念病院、大和病院。

●問 ゆのさと園の増床30床の入所者選定作業は。

●答 湯沢町の方を優先して入所判定委員会で選定する。

## ●湯沢町の生活保護行政の実態

平成18年は22世帯30人だったが、平成25年には39世帯50人になっている。県外出身が多く、温泉旅館かホテルなどで働き、その後解雇されたケースが多い。